



平成23年4月28日

各 位

上場会社名 住友大阪セメント株式会社
 代表者 取締役社長 関根 福一
 (コード番号 5232)
 問合せ先責任者 執行役員総務部長 齋藤 昭
 (TEL 03-5211-4505)

業績予想の修正及び特別損益の計上に関するお知らせ

最近の業績動向及び平成23年3月11日に発生しました東日本大震災の影響を踏まえ、平成22年11月5日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	195,000	5,500	4,000	300	0.72
今回修正予想(B)	201,000	7,400	5,900	1,400	3.36
増減額(B-A)	6,000	1,900	1,900	1,100	
増減率(%)	3.1	34.5	47.5	366.7	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	195,089	3,037	1,046	△849	△2.04

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	130,000	4,300	3,000	0	0.00
今回修正予想(B)	132,500	5,800	4,400	1,200	2.88
増減額(B-A)	2,500	1,500	1,400	1,200	
増減率(%)	1.9	34.9	46.7	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	131,086	2,294	407	△938	△2.25

修正の理由

当期の売上高は、セメント国内需要が想定を上回ったことや鉱産品事業の石灰石、新材料事業の電子材料等の販売が好調に推移したことなどから、当初予想を上回る見通しとなりました。
 営業利益、経常利益は、増収効果に加え、セメント事業のコスト削減が進展したことなどから、ともに当初予想に比べて増益となり、当期純利益につきましても、災害損失を特別損失に計上するものの増益となる見通しです。

● 特別損失の計上について

東日本大震災の影響につきましては、セメント製品の出荷拠点であるサービスステーションの固定資産、棚卸資産等への被害やセメント工場の操業停止等の影響が生じております。
 このため、見積もり計上分を含め、連結で約8億円、個別で約5億円の特別損失を計上いたしました。

以 上